

森を感じる もっと楽しむ

館内は木曾ヒノキ備林をはじめとする市独自の森林文化を取り入れています。

また、市内のヒノキやスギをふんだんに使い、森の中にあるような空間を創り出しました。



①あそび まなび

- ①市内の木曾ヒノキ備林内に生育する、ヒノキとサワラが寄り添い1本となった珍しい「合体木」をイメージした「シンボルツリー（大型木製遊具）」を中心に、木のおもちゃの遊びや木育プログラム、ワークショップができる空間
- ②市独自の森林文化などを紹介するギャラリー
- ③木に囲まれ、大人もひといきつける空間
- ④小さな子ども達が安心して遊べる空間



②ぶんか



③くらし



④いきもの

なかつがわ 森の木遊館

利用案内

開館時間（2部制）

- ・第1部 10時～12時
- ・第2部 13時30分～15時30分

定員 各回30人

利用方法 予約優先制

※予約状況に空きがあれば、当日予約なしでも利用できます。

休館日

- ・毎週水、第1・3火
- ※祝日にあたる場合はその翌日
- ・12月29日～1月3日
- ・そのほかメンテナンスのため臨時休館あり

8月4日 オープン!

なかつがわ 森の木遊館



ようこそ 森の入り口へ

「なかつがわ森の木遊館」は、子どもから大人まで幅広い年代の方が、木に触れ、木に親しみ、森林とのつながりを体感できる施設として、「道の駅花街道付知」を一部改修し整備されました。8月4日(日)に開館記念式典などが行われ、8月5日(月)から利用できます。

基本コンセプト 「mottoo」

「mottoo(もっと)」には、「より多くの人を中津川市に誘い、もっと木のことを、もっと森のことを好きになる、すべての人と森をつなぐ『森の入口』になる」という思いを込めました。「木」によって五感を刺激されるワクワクを、子どもから大人まで、多くの人がもっともっと楽しむ木育拠点となることを目指しています。

このコンセプトや施設整備構想は、岐阜県立森林文化アカデミーの辻充孝教授や同校学生からご提案いただきました。

園林業振興課（宮内線244）